

進路指導・キャリア教育だより

# 夢に向かって

第2号

令和3年9月14日(火)



## キャリア教育とは

平成29年度から学習指導要領の中に「進路指導」という言葉の他に、「キャリア教育」という言葉が多く用いられるようになりました。キャリア教育とは、次のように定義されています。

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達<sup>\*</sup>を促す教育

<sup>\*</sup>キャリア発達：社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

キャリア教育は、一人一人の生徒が「学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すこと」ができるよう指導、支援していくことを主眼とする教育活動です。キャリア教育を効果的に展開していくために、次のような方向性が示されています。

- 社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力である「基礎的・汎用的能力」を育成すること。
- 中学校では、特別活動を要としつつ、各教科・各領域における学習、個別指導としての教育相談等の機会を生かしつつ、学校教育全体を通じて実施すること。
- 日常の教科等の学習指導においてキャリア教育の視点を大事にし、将来の生活や社会と関連付けながら見通しをもったり、振り返ったりしながら学ぶ、「主体的・対話的で深い学び」を実現すること。
- 「社会に開かれた教育課程」の理念のもと学校と地域・社会や産業界等が連携・協働して、職場見学、職場体験活動、社会人講話などの体験活動の充実を図り、生徒を育てること。
- キャリア教育を実現し、学校生活と社会生活や職業生活を結び、関連付け、将来の夢と学業を結びつけることにより、生徒の学習意欲を喚起すること。



中学校では、高校進学へ向けた進路指導をしていますが、それだけがキャリア教育ではなく、将来の夢・職業について知ることや今の自分に与えられた役割を責任をもって果たすこと、さらには、毎日のあいさつや返事、言葉遣い、学習や部活動に向かう姿勢等もキャリア教育の一部となります。これらのことをしっかり行うことが自分の将来の夢への近道となります。そして、学校だけでなく、家庭や地域とともに未来ある子どもたちのために努力することが大切です。ご理解とご協力をお願いします。